

令和5年度 第1回瀬戸内市地域公共交通会議 会議録要旨

開催日時：令和5年7月20日（木）13時30分～15時15分

開催場所：瀬戸内市立図書館 1階 つどいのへや

出席委員：大東会長（ノートルダム清心女子大学 人間生活学部）

三浦副会長（瀬戸内市副市長）

平本委員（両備ホールディングス（株））

河田委員（東備バス（株））

尾崎委員（（有）ツルヤタクシー）

坂本委員【代理：重田氏】（（有）ネイチャーワールド自動車）

元浜委員（瀬戸内市商工会）

秋山委員【代理：林氏】（瀬戸内市観光協会）

中尾委員（瀬戸内市老人クラブ連合会）

野口委員（瀬戸内市PTA連合会）

渡辺委員【代理：山口氏】（西日本旅客鉄道(株)中国統括本部岡山支社）

三枝委員（一般社団法人 瀬戸内市緑の村公社）

吉田委員（中国運輸局岡山運輸支局）

國廣委員（岡山県県民生活部県民生活交通課）

川淵委員（備前市市民生活部公共交通課）

本山委員（瀬戸内警察署）

吉田委員（備前県民局建設部管理課）

出席委員 17名

委任状提出委員 4名

事務局：総合政策部 岡崎（部長）

企画振興課 青砥（課長）、久安（主任）、鈴木（主事）

1. 開会

※委員の委嘱（令和5年4月1日付けで2年間の任期）

※新たに就任した委員の紹介（6名）。

※会長・副会長・監事の選任。

会 長：大東委員（ノートルダム清心女子大学人間生活学部）

副会長：三浦委員（瀬戸内市副市長）

監 事：元浜委員（瀬戸内市商工会）、秋山委員（瀬戸内市観光協会）

2. 会長あいさつ

- ・新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことで、今後は公共交通の利用者が増加すると考える。
- ・市営バスは、令和4年10月に一乗車100円に運賃改定を行ったこともあり、利用者数が増加傾向である。また、JRについてもコロナ禍で減少した利用者が回復傾向にあると感じている。
- ・本日の会議では、瀬戸内市の公共交通網をよりよくしていくために活発な議論を行い、将来の方向性を協議したい。委員それぞれのお立場で積極的にご発言いただき、議論を深めたいと考えている。

3. 議事

議事1 「市営バス事業について」を事務局から説明

(1) 利用者数の推移

- ①「ハイエース6路線」の年度別利用者数の推移
- ②「虫明・長島愛生園線」の令和4年度の月別利用者数（令和4年4月運行開始）
- ③「牛窓中央線」の令和4年度の月別利用者数（令和4年10月運行開始）
- ④1便あたりの利用者数（令和3年度・令和4年度）

(2) ハイエース路線の運賃支払い券種別割合

(3) フリー乗車定期券の販売状況（令和4年10月～令和5年6月）

(4) 市営バス新規導入車両の紹介（令和5年4月導入）/虫明・長島愛生園線

(5) 新型コロナウイルス感染症の対応状況について

(6) 市営バスに関する課題

(7) 市営バスの運行経費（令和4年度）

(8) 令和6年度市営バス運行業務委託事業者選定スケジュール（案）

(9) 事業者協力型自家用有償旅客運送について

(10) 市営バス活用事例集による利用促進

【質疑・意見等】

- ・市営バスに関する課題は、アンケート等により把握したものか。

→今回はアンケートの結果ではなく、利用者や路線沿線施設からの直接的な意見を課題として取り上げている。

- ・牛窓支所駐輪場の新設（または増設）は早めの実現していただきたい。
→駐輪場の設置位置と場所の確保が課題であるが、調整でき次第、財源を確保し早急に取り組んでいきたい。
- ・駐輪場の新設に関して、現状で自転車何台分のスペースが不足しているか把握しているか。
→データとしては取れていない。今後調査していく。
- ・「市営バス活用事例集」という取組はとても良いと考えている。情報提供者へのインセンティブも検討してはどうか。
→市営バスを使った様々な利用方法を募集し、広く周知していきたい。事例が集まらなければ意味がないため、インセンティブを付けることも検討していく。
- ・運行経費の説明で、「利用者1人当たりの経費」を算出しているが、この利用者には運賃無料となる中学生以下も含まれているか。
→中学生以下の利用者も含んで計算している。
- ・牛窓中央線は令和5年3月分の利用が多いが何か要因はあるか。
→具体的な理由は把握していない。ハイエース路線でも3月は利用者が多い傾向にある。
- ・自宅から市営バスの停留所までの距離が遠い人について、路線上であれば自宅前から乗降できる仕組みとしてはどうか。
→当市の場合、路線や道路幅、沿線集落の状況から考えると、フリー乗降の仕組みを取り入れることはできない。市営バスの導入当初には警察署に相談したこともあるが、本市の狭隘道路多く含む市営バス路線においては安全面の確保が困難であるとの意見があった。なお、既存の路線上であれば、必要に応じて停留所の新設や移設を検討することは可能である。

【合意の確認】

- ・会長：資料7ページの「事業者協力型自家用有償旅客運送制度の導入」についてご異議はないか。
---全員異議なし---
- ・会長：異議はなく、合意したことを確認した。事務局は必要な手続きを進めること。

議事2 「地域内交通について」を事務局から説明

- (1) タクシー活用事業
- (2) 前島地域内交通実証事業
 1. 令和4年度の利用実績
 2. 車両のラッピング
- (3) 前島フェリー
- (4) タクシー事業者の営業時間短縮の影響（主に夜間）

【質疑・意見等】

- ・タクシー活用事業利用券について、複数人でタクシーを利用した場合でも利用券は使用できるか。
→タクシー活用事業利用券の対象者本人が乗車していれば、家族や友人などの同乗は問題ない。
- ・市の異なる種類のタクシー券を出し合って運賃を支払うことは可能か。
→関係課に確認をして回答する。
- ・市内のタクシー事業者の営業時間の周知について、市民だけではなく観光客にも周知できる仕組みにしていきたい。
→利用の多い駅やバスの結節点で周知できるようにしていきたい。
- ・事務局：市が発行する公共交通マップや市ホームページなどにより、タクシー事業者それぞれの営業時間を積極的に周知することについて、タクシー事業者は問題ないか。
→タクシー事業者：問題ない。

議事3 「JR赤穂線の利用促進について」を事務局から説明

(1) 岡山県JR在来線利用促進検討協議会

- ・赤穂線ワーキングチームで実施した取組について

(2) JR駅前等整備事業

(3) 株式会社岡山村田製作所によるJR赤穂線を利用した通勤の取組（紹介）

- ・駅前整備に関して、自転車の盗難防止のため、駐輪場には作動する防犯カメラを何台か設置するようにしていきたい。
→所管している建設課へその旨伝えさせていただく。
- ・市営バス「牛窓中央線」で赤穂線への乗継が厳しい便がある。余裕のある乗継時間を確保できるダイヤ調整を検討してはどうか。
→次回のダイヤ改正時に改善策を検討する。

4. その他

※特になし

5. 閉会

副会長 本日の会議では、委員それぞれの立場から積極的に意見をいただくことができた。より良い公共交通にしていけるよう、市としても前向きに検討してく。

以上